

授業科目名	色彩学			年 次	1年						
担当教員名	三橋 幸四郎			学 科(コース)	Webクリエイター科						
授業の方法	講義	週時限数	1	年間授業時数	38時間	科目区分 必須					
関連実務経験等	イベント・コンサート・舞台等における映像・3DCG・イラスト等の制作に携わる。										
授業の概要 (実務経験を活かした教育内容)	デザインにおける色彩の知識やカラーコーディネートは色を戦略的・効果的に使う上で欠かせないものです。 東京商工会議所主催カラーコーディネータ検定スタンダード級を学習することで、配色を論理的に行うことができます。										
授業の到達目標	1. デザイン技法の基礎が理解できる。 2. デザイン技法の応用を習得できる。 3. カラーコーディネータ検定スタンダードクラスに合格できる。										
授業計画	月	内容									
	4	•色のはたらき •色彩が人や社会にもたらす役割 •心理的効果の基礎									
	5	•光と色 •光の三原色 •物体の色の見え方 •色の物理的性質の理解									
	6	•配色と色彩調和 •PCCS •マンセル表色系 •色を定量的に扱う基礎を身に着ける									
	7	•色が見える仕組みと色の心理的現象 •色覚の仕組み •色覚差の理解									
	8	-									
	9	•企業のコーポレートカラー •流行色 •文化と色の関係 •前期末試験実施									
	10	•配色実務 •カラーコーディネートの基礎									
	11	•色彩工学的な側面 •材料の色や塗装技術 •環境と色彩									
	12	•これまでの学習の振り返り •検定対策									
	1	•これまでの学習の振り返り •検定対策									
	2	•これまでの学習の振り返り •検定対策 •後期末試験実施									
	3	•これまでの学習の振り返り •検定対策									
成績評価の方法	前期(9月)と後期(2月)の定期試験で評価を行う。 成績評価:優(100~90)・良(89~70)・可(69~40)・不可(39~0)										
準備学習・事後学習等	配布プリントの記入し、デザインを行う上で配色についての疑問点などをまとめておく。										
テキスト	カラーコーディネーター検定試験公式テキスト										
参考書・参考資料等	参考資料をプリントで配布等										
その他 (学生に対する要望、メッセージ)	配色のセンスを数値やルールに基づいて再現できるよう、普段から身の回りの配色を見ておきましょう。この授業ではイラスト グラフィック ファッション web等、デザイン分野で必要な色彩の知識を身に着けていきます。										